

明海大学 不動産学部

# 不動産の不思議

第18回

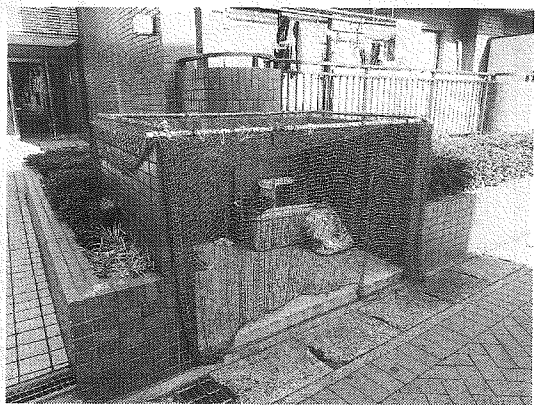
学生たちの視点と発見

## 【学生の目】

浦安市を歩いて印象に残った場所があった。それはネットをかぶせた「ゴミ置き場」(写真)。周辺をよく調べるとゴミ置き場にも様々な種類があり、そこに私は興味を持った。大体のゴミ置き場は住宅

## ゴミ置き場

置ると、台風が来たときにゴミが風で飛ばされてガ



よく見かけるネットを掛かけたゴミ置き場

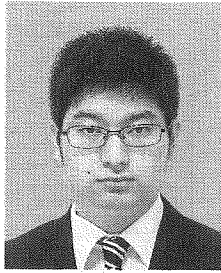
# 倉庫を造って保管しては

の前にあり、ゴミが見えるようになってる。多くの場合はガラスや猫などの動物対策にネットが掛けられてるが、掛けていない場合もある。生ごみをガラスや猫などに荒らされているところもあった。このようなことが繰り返されると住民間のトラ

ナスが割れたり、人がケガをするといった問題が発生する。大家さんの責任が問われるケースもある。つまりゴミが見えるということは、様々な問題を誘発しやすい。

座安立

不動産学部4年



## 総合・政策

ゴミ置き場として倉庫を造り、その中にゴミを保管する方法を地域の全住宅が採用するのはどうだろう。ゴミが見えないので、ガラスや猫などの動物被害やポイ捨てを誘発する

ことを残す可能性があることを考えると、事後解決型は必要となるコストが見えない。コストが建設費に限定される予防型に対し、予見できないリスクを抱える事後解決型の住宅地は魅力的とはいえない。

住宅の中にダストシューターを造ってゴミの投入口とし、地下に大きなゴミ貯蔵室を造って一時保管する方法も考えられる。住人は気軽にゴミを捨てることができ、動物や不法投棄の問題は皆無となるが、戸建て住宅に普及させるためには時間がかかりそうだ。

## 【教員のコメント】

ゴミの問題にはハードとソフトの両面がある。ハードはゴミ置き場の設置方法にかかる建築設計の問題であり、ソフトは出し方や収集にかか

る利用方法の問題である。個別には不動産とは無縁のようだが、両者相まって資産価値に影響する点で不動産が解決すべき課題である。